

第十八回

西郷隆盛とふ

維新ふるさと館

書道展

令和七年九月二十日(土)～十月十九日(日)



鹿児島市
維新ふるさと館
Museum of the Meiji Restoration

～ 後 援 ～

鹿児島市教育委員会
南日本新聞社
南日本書道会
鹿児島県書道会

■ 西郷南洲大賞 ■

第18回 西郷隆盛をしのぶ 維新ふるさと館書道展

～ ごあいさつ ～

初秋の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

これまで鹿児島市維新ふるさと館に対しまして、ご協力と多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、「西郷隆盛をしのぶ維新ふるさと館書道展」につきましては、幕末から明治維新时期にかけて活躍した、郷土かごしまの偉人である西郷隆盛の人徳と偉業を称え、故人をしのぶとともに、郷土に対する思いを醸成し、郷土への関心を高めるために毎年開催しております。漢詩、かな・調和体の課題は、西郷隆盛の漢詩や和歌から選んでいます。今年の五言律詩には「雪に耐えて梅花麗し」「霜を経てふう楓ようあか葉丹し」、七言絶句には「児孫の為に美田を買わず」など有名な言葉が含まれます。「敬天愛人」も含め、課題の詩歌から西郷の精神を感じ取っていただければと思います。

本書道展も今回で18回目を迎えました。これもひとえに、書道愛好家など多くの市民や県民の皆様、書道関係者・報道機関など各種団体等のご理解とご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

今年も県内外から多くの作品が寄せられ、応募総数1,677点の力作が揃いました。審査の結果、西郷南洲大賞など509点が決定いたしました。

応募していただいた作品は、9月20日から10月19日まで30日間、当館のロビー等で展示いたします。それぞれの思いがこもった作品をどうぞご覧ください。

令和7年9月吉日
鹿児島市維新ふるさと館

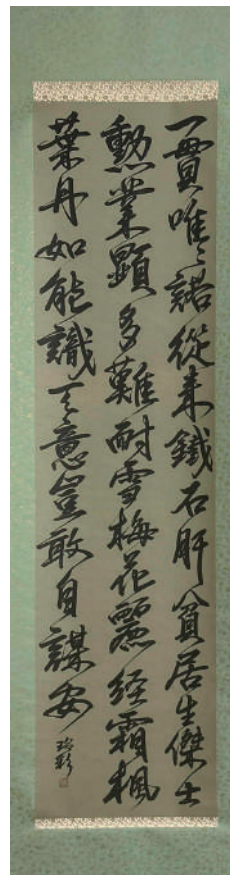
～ 講 評 ～

維新ふるさと館書道展審査委員長 奥山 輝陽

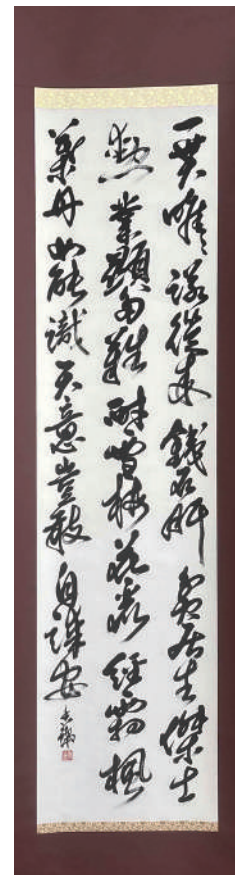
西郷隆盛をしのぶ維新ふるさと館書道展も第18回展を迎えました。各方面から出品していただきましてありがたく感謝申し上げます。県外からの出品も多くなってきて、遠くは北海道から出品がありました。

作品は一生懸命に書いた優秀作品がほとんどで、審査するのに苦労もありましたが、頼もしくも感動もありました。審査の観点は、小学生では美しい字形も大切ですが、美しい線も大切です。また、大きすぎず紙面が美しく見える作品を選んでいきました。中学生の『敬天愛人』や『郷中教育』はまとめるのに苦労したと思われるのですが、熟練した素晴らしい作品が多く、見応えがありました。高校・一般の方々は古典を追求した作品が多くなってきました。喜ばしいことです。昨年とは違う古典を勉強されている作品もあり、嬉しく思いました。ただ、条幅作品では字典を活用してほしいと思うことでした。また、半紙作品や調和体・仮名の優秀作品も多く出品していただき、ありがたいことでした。

さらに、19回展も各方面から多くの作品を出品してくださることを祈念しまして講評いたします。



高1年
杉本 玲彩



一 般
占部 早矢香



小5年
萩原 明奈



小6年
久木山 心咲



中3年
柿園 楓珂



高1年
峯元 麻莉



小1年
濱平 まい



小3年
田澤 琉空



中1年
松元 ゆきは



一 般
矢神 明愛



小2年
岡崎 稜



小4年
南新 七美



中2年
菊地 夢依